

安全衛生対策強化月間～心を込めてご安全に！～

ご安全に！2020年の年が明け早や1か月が経過しました。仕事始めの1月6日には、基幹労連役員全員で水天宮へ安全祈願に行っていました。17件19人もの尊い仲間の命が失われてしまった昨年の反省も込め、基幹労連に係わる全ての仲間の安全と健康、今年こそは死亡災害ゼロをと祈願しました。

しかしながら、今年に入り既に4件4人の死亡災害が発生するという異常事態となっています。この状況をふまえ、1月末に各業種別部門の委員長の皆さんから緊急要請として①全役員による安全の「声かけ」②危機的な現状を労使で共有し安全職場構築に向けた一層の取り組みをお願いいただきました。

2019年度の死亡災害を見ると、

- ① 組合員と協会の比率 ⇒ 協会が82%と近年で最も高い
- ② 勤続年数別 ⇒ 大きな偏りはないものの15年以下が68%
- ③ 経歴年数別 ⇒ 勤続年数別と同様の傾向で、15年以下が54%と約半数
- ④ 年齢別 ⇒ 41歳以上が79%、なかでも61歳以上が26%と最も高い
- ⑤ 型 別 ⇒ 墜落・転落、挟まれ・巻き込まれが多い傾向に変わりはないが、挟まれ巻き込まれは昨年と比べ大きく減少、一方で墜落・転落は増加

という傾向になっています。

2月は安全衛生対策強化月間です。これまでの死亡災害事例をふまえた類似災害の発生防止、不安全箇所の是正、取り組み状況のチェックなどの活動はもとより、改めて「ご安全に」の言葉・挨拶に込めた「仲間の安全と健康を願う気持ち」と「自らの誓い」の思いを職場へ徹底願いたいと思います。

いよいよAP20春季取り組みがスタートします。国内外の経済動向が不透明感を増す中、基幹労連に関係する産業・企業も厳しい事業環境・状況におかれ、職場は懸命の対応を図っています。そして、こうした状況を乗り越えるためにこそ、賃金改善をはじめとした労働条件の改善に取り組む必要があるということ、職場・組合員に伝えなければなりません。そうした対話活動のなかでも、常に「ご安全に」の声掛けをお願いいたします。

全ての職場でご安全に！全ての働く仲間を思いご安全に！心を込めてご安全に！

2020年2月1日
日本基幹産業労働組合連合会
事務局長 津村 正男